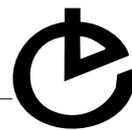


議会だより とくのしま



第 175 号

平成 26 年 5 月 1 日

発行：徳之島町議会 編集：議会広報編集委員会 〒 891-7192 鹿児島県大島郡徳之島町亀津 7203
TEL 0997 (82) 1111 FAX 0997 (82) 1101



町植物工場「神田福祉農園」を視察する議員ら

第 1 回定例会

3 月 4 日～ 3 月 14 日

- | | |
|------------------------|------------|
| ☆ 審議された案件と議決結果 | P 12 |
| ☆ 一般質問 (6 氏登壇) | P 13 ～ P18 |
| ☆ 議会の動き | P 14・15 |
| ☆ 三カ町議会議員大会及び研修会 | P 19 |
| ☆ 自治功労表彰、議会活動スナップ、編集後記 | P 20 |

3 月定例会で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果			
(議案)				
・特別職の職員の給与の特例に関する条例の制定	原	案	可	決
・教育委員会教育長の給与及び勤務時間の特例に関する条例の制定	原	案	可	決
・職員の給与に関する条例の一部改正	原	案	可	決
・乳幼児医療費の助成に関する条例の一部改正	原	案	可	決
・下水道条例の一部改正	原	案	可	決
・給水条例の一部改正	原	案	可	決
・過疎地域自立促進市町村計画の一部変更	可			決
・損害賠償の額の決定	可			決
・平成 25 年度一般会計補正予算 (第 7 号)	原	案	可	決
・平成 25 年度簡易水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)	原	案	可	決
・平成 25 年度国民健康保険事業特別会計補正予算 (第 5 号)	原	案	可	決
・平成 25 年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第 3 号)	原	案	可	決
・平成 25 年度介護保険事業特別会計補正予算 (第 4 号)	原	案	可	決
・平成 25 年度公共下水道事業特別会計補正予算 (第 4 号)	原	案	可	決
・平成 25 年度地域包括支援センター事業特別会計補正予算 (第 3 号)	原	案	可	決
・平成 25 年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 3 号)	原	案	可	決
・平成 26 年度一般会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 26 年度簡易水道事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 26 年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 26 年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 26 年度介護保険事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 26 年度公共下水道事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 26 年度地域包括支援センター事業特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 26 年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 26 年度水道事業会計歳入歳出予算	原	案	可	決
・平成 26 年度一般会計補正予算 (第 1 号)	原	案	可	決
・工事請負変更契約 (徳之島町製氷貯氷施設塔新築工事)	可			決
(諮問)				
・人権擁護委員候補者の推薦について (池本光子氏)	適			任
(陳情)				
・議会改革に関する陳情書	不	採		扱
・TPP (環太平洋連携協定) 交渉に関する陳情書	採			扱
(発議)				
・TPP (環太平洋連携協定) 交渉に関する意見書	原	案	可	決
・徳之島町議会議員の政治倫理に関する決議	否			決
・議員派遣の件	原	案	可	決

1 月臨時会 (第 1 回) で審議された案件と議決結果

案 件	議決結果			
(議案)				
・教育委員会委員の任命について (仲田克孝氏)	同			意

いっばん質問

3月定例会には、6人の議員が登壇し、施政方針、医療・福祉問題、水道行政、地域経済の活性化等さらに教育振興など町政全般にわたり執行部の考えをたしました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。

移設の約束あったか

内 重男 議員



問 病院移設↓徳寿園↓植
物工場とシルバーハウ

スへ用途変更地が、現在も裁判中。徳田虎雄先生は「病院は郊外には移転しない。移転するなら独自で土地を購入する」と言われている。移設の約束があったか。造成後の土地価格は、反当たりいくらになったか。

移設の話はあった

高岡町長

答 病院移設の話はあった。誘致の意思は伝えた。場所選定は、徳洲会側に依頼した。

反当たり2402万円

答 米原総務課長

造成経費は、土地購入費を含め造成費用等を造成面積で計算すると、反当たり2402万円になる。

一部を業務委託

幸田地域営業課長

答 4月から「ヘルシーアイランドみのり館」に製造、開発部門の一部業務委託を行う。食材の宝庫、徳之島の味を生み出す美農里館をテーマに、郷土料理を開発し、郷友会との交流を深めて販路拡大のため一層の努力をする。

※「ヘルシーアイランドみのり館」とは、地域資源である農林水産物を有効活用した、特産品開発・加工製造技術開発を行い、安全安心な高付加価値の特産品を研究・開発・販売する団体である。

加工センター
4月営業開始

問

7億円以上も費やして建設した食品加工センター「美農里館」は4月から営業開始する。当初障がい者、高齢者雇用をうたっていたが、何人雇うのか。販売商品、販売方法、農家所得向上策は。今年度売り上げ額1500万円予算計上されているが、ゼロが一つ足りないのでは。

消費者販売が課題

高岡町長

答 首都圏では県運営の遊楽館等、関西地区は郷友会の協力を得ながら販売を進めていく。島内、県内の小売店舗に販売していくが、販売店から消費者へのPRが課題になる。加工部

TMRの

現況と今後

問

TMRセンター（牛の自給飼料生産）は、畜産振興に期待大だ。現況と今後の運営計画は。大きい農家だけが利するのではなく、中小農家にも利用できるようにしてほしい。

安い飼料を供給

答

里内農林水産課長
TMRセンター管理運営業務は、粗飼料生産のローズグラス・エンバク等の植え付け作業受託、飼料用サトウキビのラッピングの受託・販売、また中小畜産農家への10キップ手作り販売を行っている。今後、TMR飼料（混合飼料）を安く畜産農家へ供給できるように国・県・町・協賛農家で研究、研修を行い頑張っていく。



植物工場の管理運営を委託している合同会社徳之島絆ファームの皆さん

国保税引き下げ必要財源いくら



幸 千恵子 議員

ケアマネ等との意見交換や準備等はどうか。

介護 保険 改定前の準備は

問

包括支援センターの窓口で受けた相談件数と内容は。介護保険改定について「自分に死ねということだ」と不安を訴える高齢者がいる。改定前に現場の

ニーズを十分に 把握して対応

答

宮之原介護福祉課長
相談件数は907件で、内容はほとんどが介護や生活支援で895件だ。

うその答弁は 今後もあるのか

問

町長は、平成22年7月29日に、病院の移転がないことを知ったの

うその答弁は していない

答

高岡町長
土地購入は、病院移設用地として買った。反対するにも責任がある。例えば、ヘリポートは、オスプレイが来ると言って反対したが、実際は来ない。この責任は。私は、うその答弁はしていない。

約2600万円

必要

答

政本健康増進課長
平成26年2月6日現在で国保の世帯数が、2624世帯あるので1年間2624万円の財源が必要となる。



国保税の状況について説明を求める幸議員

- その他の質問
- 植物工場について
- 農業政策について
- アンテナショップについて
- ヘリポートについて

議会の動き

- 1月 成人式
- 5日 消防出初め式
- 6日 議会だより編集委員会
- 7日 議会だより編集委員会
- 11日 公明党新春政経懇話会(奄美市)
- 12日 歳末大売り出し抽選会
- 14日 第1回臨時議会
- 14日 議会だより編集委員会
- 21日 新春政経時局セミナー(鹿児島市)
- 25日 議員研修会(鹿児島市)
- 25日 徳之島建設業協会新年会(天城町)
- 26日 徳之島建設業協会新年会(天城町)
- 30日 生涯学習推進大会(奄美市)
- 2月 徳之島三力町議員連絡協議会役員会(天城町)
- 5日 徳之島三力町議員連絡協議会役員会(天城町)
- 14日 徳之島三力町議会議員大会(天城町)
- 15日 全国牛削蹄競技大会祝賀会



改修が待たれる花徳中央線

崩落箇所 の改修を

広田 勉 議員



問 上花徳集落への幹線道路が、昨年の台風災害で2度目でしかも2カ所同時に崩落した。完全に通行ができなくなり、一時迂回路生活であった。誰が見てもこの箇所はまた崩れそうだが、抜本的な改修工事が早急に必要と思うが。

答 麓建設課長 この道路に隣接する崖崩れ箇所を調査したところ、個人所有地になっており、道路災害には適用ならない。今後は、急傾斜地対策事業等で整備できないか県と協議していきたい。

急傾斜地での 整備を検討

問 消火栓は足りているか

亀津の高台の住宅地帯は消火栓がほとんど設置されていない。水道タンクも個人で設置している状態だ。防火水槽か消火栓かのいずれかを設置すべきではないか。また町全体では消火栓はいくつあって、足りているか。

基準に従い設置

答 米原総務課長 消防水利等は、防火水槽92カ所、地上式消火栓108カ所、地下式消火栓139カ所が設置されている。町内では、高台へ住宅地開発が進み、今後その地域へ基準に従い設置を計画したい。

収入保険の 導入を

問 農業共済は、災害による収量落ち込みに対応する制度で、価格の落ち込みには対応していない。子牛には42万円が発動基準価格があり、これ以下になると補てんがある。農業共済もこれと同様に基準価格を決めて、補てんができるような「収入保険」の導入ができないか。

農業共済保険は 難しい

答 里内農林水産課長 バレイシヨは収穫量の減について、自然災害か病虫害防除不足等による人的災害かの把握が困難なため難しい。そのため県野菜価格安定対策事業で、市場に出荷した野菜の平均販売価格が保証基準額を下回る場合に交付する。

その他の質問
○花徳支所について
○ボランティア保険について
○3点セットについて
○水道行政について
○近隣公園の管理について

16日	中島武志氏交通榮譽賞緑十字金賞祝賀会
26日	市町村長・議会議長合同会（奄美市）
28日	植物工場開所式 議会運営委員会
3月	
4日	第1回定例会開会
7日	劇団四季との交換会
13日	町内各中学校・併設校卒業式
14日	自衛隊ヘリコプター慰霊祭
15日	第1回定例会閉会 平成25年度「学土村塾」閉講式
19日	議会たより編集委員会
24日	町内各小学校卒業式 小・中管理職等送別会
4月	
3日	議会たより編集委員会
6日	地域安全・交通安全運動出発式
7日	戦艦大和慰霊祭
10日	小中学校入学式 議会議長・事務局長合同会議
11日	転入教職員宣誓式及び研修会

キビ輸送に助成を

福岡 兵八郎 議員



いている。輸送費は、毎年輸送組合と製糖会社との話し合いで決定すると聞いているが、他の市町村も調査し精査したい。現状は厳しい。

問 キビ輸送業者は、サトウキビ等安定生産体制緊急確立事業の恩恵を受けていない。そのため、燃料、人件費の高騰やトラックの維持管理で四苦八苦している。キビ輸送業者にも道路使用税減免相当分（1ト32円）を奄振での助成はできないか。

現状は厳しい

答 里内農林水産課長
最近、軽油の高騰

サトウキビの2年連続不作による搬入量の減少により、営業面において輸送業者は厳しい状況にあると聞

バレイシヨに 保管庫を

問 本町の第3品目であるバレイシヨの価格

安定は、雨除け栽培（簡易ハウス）と保管庫（農家個々や地域に）の整備にある。出荷量の当てにならない産地からの脱却をするためにもこの事業導入はできないか。

品質保持に必要

答 里内農林水産課長
農産物出荷の基本は、

浄水場は 大丈夫か

浄水場は、町内に13カ所設置されているが、塩素の検査と今後の整備計画はどうなっているか。

問

定時・定量・定質だ。これを維持するためにも保管庫は必要である。今後畑かん営農推進と合わせて簡易ハウス等検討し、品質保持のため、また消費者から信頼され喜ばれるためにも早急の保管庫の導入をJA等と協議しながら進めたい。

亀津浄水場の水質に町民からのクレームがある

26年度から整備

答 井水道課長

水道法20条の規定により水質検査と塩素の測定を毎日実施している。

今後の整備計画は、平

が、改善策はあるのか。

成26年度から母間、轟木、花徳南部の浄水場の整備を行う予定である。

水質クレームの原因としては、管の中の汚れが考えられるため、消火栓の水を出す等対処しているところだ。

その他の質問

- 施政方針について
- 事業計画推進について
- 町民への情報環境整備について



新たに前処理ろ過器が設置された母間浄水場



窓口業務もより一層の公共サービスの充実に努めていく

住民の要望を確実に

是枝 孝太郎 議員



問 各事業課では、住民が、今何が必要で、何を望んでいるのかを把握しているか。また自ら、組織として手立てや方法を立ち上げて率先して実践しているのか。

答 香山副町長 地域の要望は、駐在員からの要望書等により把握している。公共サービス基本法の基本理念等を踏まえ、関係課長はじめ職員一同、地域住民の要望を把握し公共サービスの充実に努める。

要望を踏まえた公共サービスの充実

公平委員会の設置を

問 徳之島町、奄美群島の出身者教員の安定

的な人員確保を行う上で、奄美群島全体として、公平委員会を設置できないか。

※「公平委員会」とは、地方自治法及び地方公務員法により定められた職員の勤務条件等に対する不利益処分を審査し必要な措置を講じる行政委員会である。

県へ委託

答 米原総務課長 公平委員会は、職員の任免等人事権行使を適正に行う機関として、その設置が義務づけられている。町では県へ委託している。

設置は難しい

答 秋武教育長 大島地区も含めて、教職員の任用や給与の負担は県教育委員会が行っており、大島地区で公平委員会を設置しても、財源や優秀な教職員の確保の面で厳しく、現状での公平委員会の設置は、今のところ考えていない。

次回の定例会は 6 月です

みんなで議会を傍聴してみませんか。手続きは簡単で、傍聴席入口の受付名簿に住所、氏名を記入していただくだけです。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

☎ 8 2 - 1 1 1 1 (内線 331 番)



議会傍聴の様子

お わ び

平成 26 年第 1 回定例会において、議会中継システムに不具合が発生し、視聴者及び関係者の皆さまにご迷惑をお掛けしました。大変申し訳ございませんでした。

※定例会の様子をインターネットでご覧いただけます。町のホームページから「議会中継」にアクセスしてください。

人口減への施策は

町 田喜男 議員



振興や観光振興により地域産業を活性化させ、雇用機会を増やす施策が必要である。また、各部署における各種取り組みの積み上げが重要だ。

問 本町では、毎年 200 人前後の人口

が減少している。これでは、地域経済の活気もなくなり町の進める「快適に暮らし続けられる町づくり」も停滞するのではないか。平成 33 年の人口 1 万人維持に向けてどんな施策を講じるのか。

各種取り組みの積み上げを

答 住田企画課長

自然減少施策は、子育て支援サービスや保育サービスの充実等の子育て家庭を支援する体制づくり、社会減少施策は、農業

害虫防除と補助を

問 徳之島の「タンカン」は、銘柄が確立しつつあるが、害虫被害により、多くの畑で成木が枯れた状態になっている。害虫防除に良い方法はないか。また補助事業はないか。

里内農林水産課長

根気強く防除

答 本町においてもゴマ

ダラカミキリ虫の被害は進んでおり、被害を食い止め

るには、成虫・幼虫とも根気強く防除し、島全体の密度を下げるのが有効だ。今後捕殺に加え生物的防除も考えていきたい。

小規模校に特別講師派遣を

問 学校再編問題も議論されている昨今、複



視聴覚機器を使って ICT 授業をする母間小の子どもたち

式学級の多い小規模校に特別派遣講師は置けないか。

町費採用教員を配置

答 岡元学校教育課長

小規模校の学力向上対策として今年度は、井之川中と手々中に町費採用教員が配置される予定である。複式学級の学習指導体制づくりは、喫緊の課題であるので、町独自の教員採用での派遣や母間小を研究指定校として、電子黒板・パソコン・タブレット端末を応用した ICT 授業に取り組む。

あなたのご意見をお寄せください

議会に対する質問やご意見、または本紙に対するご意見やご希望がございましたら、議会事務局までご連絡ください。

徳之島町議会事務局 ☎ 8 2 - 1 1 1 1 (内線 331 番)

三カ町議会議員大会及び研修会

徳之島三カ町議会議員 題は、次のとおりです。

大会及び研修会が2月14日、天城町役場で開催されました。三町の議会議員、三町長、金子万寿夫県議、禧久伸一郎県議が出席し、会長あいさつ、来賓祝辞、

県政報告がありました。また、伊仙町から提出された議題が採択されました。

その後、県大島支庁農政普及課技術主幹翁長武利氏による「農産物の高付加価値化にむけて」と題して講演が行われました。徳之島三カ町の提出議

題は、次のとおりです。

鹿兒島県立德之島農業高等学校校跡地に大島養護学校分校設置を求めることについて

我々徳之島三カ町議会は、平成23年5月に開催されました「第54回奄美群島市町村議会議員大会（伊仙町開催）」に、同要望を行ってまいりました。この提案を提出した経緯については、近年特別支援学校や特別支援学級に在籍している児童生徒が増加する傾向に



講師の翁長武利氏

あることや、島内においてそのような児童を受け入れる教育環境の整備がなされていないことで、経済的にも精神的にも大きな負担を強いられている現実が永年続いていることから、提案させていただきます。

その後、県当局や県議会のご尽力を賜り、平成25年4月に、鹿兒島県立德之島高等学校の教室を利用した、大島養護学校高等部の訪問教育が実現し、3名の生徒が自宅から学校へ通うことが可能になりました。

しかしながら、このような児童生徒の受け入れには、未だ課題が残されており、例えば児童生徒が継続的に入学した場合、生徒数増加に伴う教室や専門性を有する教職員確保の問題、就労に向けての職業訓練など、訪問教育では補えない点がたくさんあります。

そのような問題を再度ご検討いただくために、障



研修中の議員の皆さん

がい児の保護者の方々と組織されている「徳之島地区地域自立支援協議会親の会（ひまわり会）」において署名活動を行い、車椅子のシンガーソングライター森圭一郎さんも全国ツアーを展開しながら大島養護学校分校設置を求める署名活動を行っています。

我々、徳之島三カ町議

会といたしましたも、各町議会において県当局並びに県議会、県教育委員会へ要望活動を行いながら、先進地研修や島内において開催された特別支援に関する講演会などで現状を把握し、障がい程度に応じた就労が出来る環境を検討し、6次産業が最善策であるとの結論に達しました。

それらを総合的に考慮すると、まさに鹿兒島県立德之島農業高等学校校跡地は、最適であり特に就労に向けての訓練施設として、農場やビニールハウス、加工作業に至るまで、実用的な研修を行うことが可能になります。しかも、屋体や設備等の耐用年数の点でも、早急に分校を誘致することでコスト的な部分で軽減されることが望まれます。

このように、官民一体となつて必要な教育環境から就労への社会基盤整備とともに構築し、住民全てに平等に幸福を感じさせることこそが、地方議会の最大の理念であり責務ではないでしょうか。

以上のことから、障がいのある子どもたちにとって必要な専門教育を受けることの出来る大島養護学校分校を鹿兒島県立德之島高等学校校跡地に早急に設置していただけるよう、再度強く要望するものであります。

全国町村議会議長会の自治功労表彰

在職 15 年以上表彰



後列左から、木原良治議員・田袋徹二議員
前列左から、福岡兵八郎議員・町田喜男議員・内重男議員

議会活動スナップ

自衛隊ヘリコプター殉職者
慰霊祭に参列した議員のみ
なさん



当初予算審査の様子



編集 後記

平成 26
年 第 1 回
徳之島町
議会定例
会で、平

成 26 年度当初予算が予算審
査特別委員会でも審査され、
全事業が、「全会一致」で
可決された。中には、過去

の議会で議論がなされた、
TMRセンター、食品加工
センター美農里館、アンテ
ナショップ句華、障がい者
の就労支援を含めた水耕栽
培ハウス植物工場等の今後
に対する予算もあったが、
この平成 26 年度

当初予算が議会の
全会一致で可
決されたという
ことを町長並び
に執行部はもち
ろん可決した議
員の一人ひとり
が深く受け止め、
これから先の徳
之島町をどう良
くしていくのか、
責任と自覚を
持って進めてい
てほしい。
これからの担

う若い世代のためにも行政
だけに頼るのではなく、一
町民一納税者として、徳之
島のために小さなことでも
何に貢献できるか真剣に考
え、本当の意味で「自律し
た徳之島町」に向け努力し
ていきたい。

文責 芝田 童星

議会だより編集委員

- 委員長 広田 勉
- 副委員長 徳田 進
- 委員 幸 千恵子
- 委員 行沢 弘栄
- 委員 芝田 童星



議会だより編集委員